

## 令和 8 年度公金管理計画の策定について

都は、安全性・流動性の確保を前提にしつつ、国内外の金融環境の変化に応じて、公金の運用先や運用商品の拡充など、柔軟かつ効率的な運用を行うことを目的に、「東京都公金管理ポリシー」を策定し、公金の保管・運用を行っています。

この度、公金の適切かつ効率的な運用のため、東京都公金アドバイザー会議の意見を踏まえ、一括運用や複合ラダー型ポートフォリオなどの新たな取組を取り入れた、「令和 8 年度公金管理計画」を策定しましたので、お知らせします。

### 令和 8 年度公金管理計画のポイント

#### 1 経済・金利動向を踏まえた計画の方向性

- 当面の間は、国内金利が徐々に上昇していく状況が続くものと想定
  - 中東情勢等、国内外における経済のリスク要因が金融市場等に与える影響を注視
- ⇒ 金利の動きを的確に捉えるとともに、リスク対応を行いながら、安全性と流動性を確保しつつ、積極運用を更に進め、一層の運用収入拡大に向けた取組を実施

#### 2 令和 8 年度における具体的な取組

- 歳計現金等…① 1 週間単位から、迅速に定期性預金を組成  
② 大口定期預金を積極的に活用し、引合いによる分散化・効率化を促進
- 基金…① 債券割合をさらに高め、特に中期債（3 年～5 年）を増やす  
② 特定目的基金において一括運用<sup>\*1</sup>を導入  
③ 短～長期の債券・預金を組み合わせた複合ラダー型ポートフォリオ<sup>\*2</sup>を構築

#### ■ 令和 8 年度 取組の方向性

令和 6 年度以前はマイナス金利政策等の影響による効率性の低下があり、不確実性に備えた運用を行ってきましたが、令和 7 年度には金利上昇を捉えた効率性を重視した積極運用に踏み出しました。令和 8 年度は、積極運用を更に進め、一層の運用収入の拡大に向けた取組を実施していきます。

##### 1 歳計現金等

- ・ 1 週間単位から定期性預金を組成し、1 ヶ月以上の預金は引合いにより分散化・効率化を促進
- ・ 令和 8 年度 年間平均残高見込み 約 1 兆 7,000 億円

##### 2 基金

- ・ 特定目的基金において一括運用を導入し、ポートフォリオについては短～長期の債券・預金を組み合わせた「複合ラダー型ポートフォリオ」を構築
- ・ これらにより中期債の残高は、令和 7 年度実績見込み比 1.5 倍となる 5,100 億円を想定
- ・ 令和 8 年度 年間平均残高見込み 約 3 兆 4,800 億円

##### 3 準公営企業会計資金

- ・ 運用可能資金は、定期性預金を基本としつつ、債券も取り入れ運用
- ・ 令和 8 年度 年間平均残高見込み 約 5,000 億円

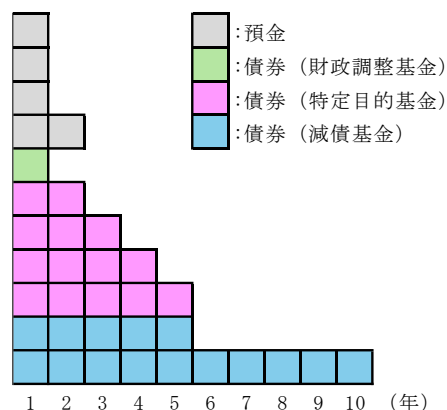
※1 一括運用

複数の基金の資金を一体として捉え、まとめて預金や債券等で運用する手法。全体として支払準備金を用意するため、取崩に対応する資金を最小限に抑えることが可能となり、資金の最適化を図ることができる。これにより運用に回せる資金が増加し、運用期間の長期化や流動性の向上、大口資金での運用が可能となるほか、事務の効率化にも繋がり、運用の効率性向上が期待できる。

※2 複合ラダー型ポートフォリオ

償還年限が異なる複数の運用商品を組み合わせる複合型運用と、償還する金額が毎年度ほぼ同程度となるように定期的に債券を購入するラダー型運用を組み合わせたポートフォリオ。年限の異なる複数の運用を多層的に重ね合わせることで、年限による金利変動リスクを軽減して安定した運用が可能となるとともに、定期的に償還を迎えることで流動性も確保できる。

(複合ラダー型ポートフォリオ イメージ)



<基金の金融商品別ポートフォリオ>

単位：億円

	預金		債券							
			合計		短期		中期		長期	
	平均残高	割合	平均残高	割合	平均残高	割合	平均残高	割合	平均残高	割合
7年度実績見込み	24,600	65%	13,300	35%	3,700	10%	3,700	10%	5,900	15%
8年度想定	20,000	57%	14,800	43%	4,000	12%	5,100	15%	5,700	16%

中期債の残高は7年度実績見込み比  
約1.5倍(5,100億円)を想定

- ※短期 2年以下
- 中期 2年超～5年以下
- 長期 5年超～10年以下

※計画の詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.kaikeikanri.metro.tokyo.lg.jp/koukinanri>

問合せ先

会計管理局管理部公金管理課 電話03-5320-5918